

いよいよ「人文科学コース」発進!!

平成24年度より「いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）」の指定を受けてスタートした、「人文科学コース」。8期生となる今年の21H（人文科学コース）は41人。彼らが、その柔軟な発想と探究心で本校の新しい歴史を作っていくてくれることを期待しています。

●人文科学コースの概要●

1. 人文科学系・社会科学系分野の興味・関心を高め、幅広い教養を身につけた、国際社会や地域社会で活躍するリーダーの育成を目指します。
2. 特色あるカリキュラムを編成し、学校設定教科「人文科学」（課題研究）を活用して、思考力や探究力、表現力を育成します。
3. 東大・京大をはじめとした難関国立大学への進学を目指し、確かな学力とともに、地域の教育力を活用した人間力の育成をはかります。

1年	普通科（7クラス）			理数科 (各学年1クラス)
2年	人文科学コース（1クラス）	文系	理系	
3年	人文科学コース（1クラス）	文系	理系	

●21H(人文科学コース)の日常風景●

- Jゼミ（＝課題研究ゼミ）活動：一年間のJゼミで研究するテーマを決めるため、興味・関心のある分野について議論を交わしています。



●Jゼミ開講式 中川校長先生より激励の言葉●

「学ぶということは、覚えこむこととは全くちがうことだ」で始まる、林竹二のこたばを紹介していただきました。「課題探究はそのトレーニングだ」というお話から始まりました。勉強と学問との違い、「問いを立てること」の重要性、そして研究活動が続けていく上で重要な「思考の補助線」「思考の肺活量」というキーワード。順調に進まない時には、グループで力を合わせて意見を出し合い乗り越えるよう激励してくださいました。自ら学ぶ研究活動は「楽しんどのい」（しんどのいけど楽しい）ものであり、自分自身の成長や変化につながるものであると教えていただきました。

学ぶということは、覚えこむこととは全くちがうことだ。
学ぶとは、いつでも、何かが始まることで、終わることのない過程に歩みこむことである。
一片の知識が学習の成果であるならば、それは何も学ばないでしまったことではないか。
学んだことの証しは、ただ一つで、**何かが変わる**ことである。



●6月2日(火) Jゼミ開講式&全体オリエンテーション①

開講式では校長先生の激励の後、人文企画室長の加藤教諭から「人文科学コース」についての話がありました。そして今年度Jゼミ担当者から意気込みや期待を述べていただきました。その後、テーマ決定の話し合いに使える話し合いの技法について学び、各教科グループに分かれ、顔合わせをおこないました。



研究をする上で大切なこと！

- 1：嘘は書かない。（研究倫理）
- 2：出典を明記する。（引用論拠）
- 3：できたこととできなかったことを明確に記録しておく。
- 4：参考にする＝パクリ＝盗用
- 5：必ず何事も「メモ」をとる。
- 6：自分の論への反論を常に意識する。

●6月9日(火) 全体オリエンテーション②

現在、国立大学の大学院生として自身の研究も進めている能美先生から、研究に対する姿勢や研究手法についての講義がありました。身の回りや日常生活の中にある「なぜ？」を明らかにすることが研究活動の出発点であるということや、「人文科学＝自分科学」であるという話を聞きました。
・これまでに誰も研究したことがないような題材（で）
・聞く人の興味・関心を掻き立てるような研究（をする）
・何より、自分たちが研究を「楽しむ」
以上3つを心がけることが肝要とのことでした。

その後、各教科グループで話し合いの上研究グループが決定し、いよいよ研究が始まりました！

今後の「人文科学コース」の主な行事

●京都大学研究室訪問(秋以降に計画中)

最難関大学の一つである京都大学文系学部を訪問し、ゼミに参加することによって大学での研究方法を知り、またOB・OGの話を直接聞くことによって進路選択へのモチベーションを高めます。

●1月19日(火)Jゼミ研究最終発表会(Jゼミ＝課題研究ゼミ)

多元的な視点で物事を考える思考力や探究する能力と態度を育成するためのJゼミ。その1年間の研究成果をこの日に発表します。他校の先生方やA L Tの先生方を招き、講評をいただきます。

●1月26日(火)NSH課題研究合同発表会(予定)

石川県地場産業振興センターで、NSH指定されている5校（七尾高校、金沢桜丘高校、金沢泉丘高校、金沢二水高校、小松高校）の生徒が集まり、発表および質疑応答を行います。お互いの研究成果に大いに刺激を受けるイベントです！

●その他、状況を見ながら、多面的・社会的・国際的な視野を養うための企画を計画していきます！

「Withコロナ」の時代、例年と同じ行事ができない部分もありますが、オンラインやその他の手段を活用し、Jゼミにふさわしい行事を実施していきたいと考えています。

●NSH担当スタッフ紹介● よろしくお祈いします！

江尻祐治（国語） 小林樹実（地歴） 大茂祥平（地歴） 高山良太（地歴） 中村悦子（英語）
福岡輝樹（英語） 加藤秀雄（室長・英語） 島村千佳（英語） 能美 仁（国語）